

みずほCustomer Desk Report 2019/11/22号(As of 2019/11/21)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.43
TKY 9:00AM	108.48	1.1078	120.20	1.2927	0.6799
SYD-NY High	108.70	1.1097	120.58	1.2970	0.6814
SYD-NY Low	108.28	1.1052	119.94	1.2893	0.6784
NY 5:00 PM	108.61	1.1059	120.10	1.2904	0.6787
NY DOW	27,766.29	▲ 54.80	日本2年債	-0.200	1.00bp
NASDAQ	8,506.21	▲ 20.52	日本10年債	-0.110	0.00bp
S&P	3,103.54	▲ 4.92	米国2年債	1.6077	2.69bp
日経平均	23,038.58	▲ 109.99	米国5年債	1.6181	2.57bp
TOPIX	1,689.38	▲ 1.73	米国10年債	1.7749	2.92bp
シコ日経先物	23,090.00	▲ 55.00	独10年債	-0.3290	2.05bp
ロンドンFT	7,238.55	▲ 23.94	英10年債	0.7530	2.40bp
DAX	13,137.70	▲ 20.44	豪10年債	1.0720	▲0.60bp
ハンセン指数	26,466.88	▲ 422.73	USDJPY 1M Vol	5.35	▲0.10%
上海総合	2,903.64	▲ 7.42	USDJPY 3M Vol	5.78	▲0.04%
NY金	1,463.60	▲ 10.60	USDJPY 6M Vol	6.33	0.03%
WTI	58.58	1.57	USDJPY 1M 25RR	-1.10	Yen Call Over
CRB指数	180.73	1.76	EURJPY 3M Vol	6.35	▲0.01%
ドルインデックス	97.98	0.04	EURJPY 6M Vol	6.80	0.02%

東京	東京時間のドル円は108.48レベルでオープン。米政府が可決した「香港人権・民主主義法案」をトランプ大統領が署名する見通しであると伝わり、米中通商協議の先行き不透明感から一時108.28まで下落。しかし、中国劉副首相が“米中通商協議の「第1段階」合意を楽観視している”と発言したとの報道が伝わると108.60まで上昇し、108.57レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.57レベルでオープン。朝方、中国商務省が米との第1段階通商合意への取り組みを表明すると108.67まで上昇。しかし上値は限定的。また中国側が新たな通商協議に米国を招待するとの報道を好感するドル買いも見られたが影響は限定的で、結局ほぼ変わらずの108.55レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2930レベルでオープン。特段の材料がない中、引き続き世論調査で与党保守党がリードしていることを背景にポンドは堅調で1.2965まで買われ1.2959レベルでNYに渡った。野党労働党がマニフェストを公表したが影響は限定的だった。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場で中国商務省の報道官が市場の米中通商協議に関する噂は正しくないと言ったとのヘッドラインに海外市場のドル円は108.67まで戻し、108.55レベルでNYオープン。朝方は、中国紙が「米国はフェーズ1の合意なしでも、12/15に発効の関税を遅らせる公算」とのヘッドラインを受け、108.70まで戻す。続いて発表された米新規失業保険申請件数が、予想をやや上回ったものの、同時に発表された11月フィデリティ連銀景況指数が予想を上回り、強弱入り混じる内容にドル円の反応は限定的となる。10時に発表された米10月先行指数は予想と一致する一方、米10月中古住宅販売件数が予想をやや下回ったがこちらもドル円の反応は限定的となった。その後米上院で暫定予算法案が可決されたことが明らかになるが、108.60付近での方向感のない推移が続き、108.61レベルでクロスした。一方、海外市場のユーロドルは、狭いレンジでの推移が続き、1.1091レベルでNYオープン。朝方は、前述の中国紙のニュースを受けたユーロ円の買いに、ユーロドルも1.1097まで戻す。しかしこのレベルでは売り意欲は強く、米金利が上昇する動きにドル買いが優勢となり、1.1063まで反落する。その後一旦1.1077まで戻す局面もあったものの、米金利上昇を受けたドル買いが継続しじりじりと上値を切り下げ、午後に入りトランプ大統領がEUに対する関税を正当化する新たな調査を検討とのヘッドラインを受けユーロ売りが強まり、1.1052まで下落する。終盤に掛けては、安値圏での推移が続き、1.1059レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:岡本・上地 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

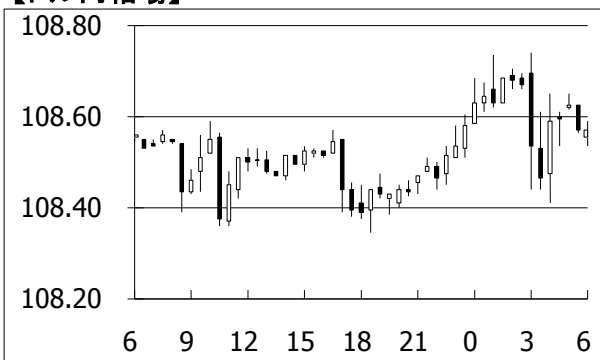
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月21日	22:30	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	「現在の金融政策は良好である。」	
	22:30	米 新規失業保険申請件数	11月 227k	218k
	22:30	米 フィデリティ連銀景況	11月 10.4	6.0
11月22日	00:00	欧 消費者信頼感	11月 -7.2	-7.3
	00:00	米 中古住宅販売件数	10月 5.46m	5.49m
	00:10	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	「米経済は拡大続く公算。」	

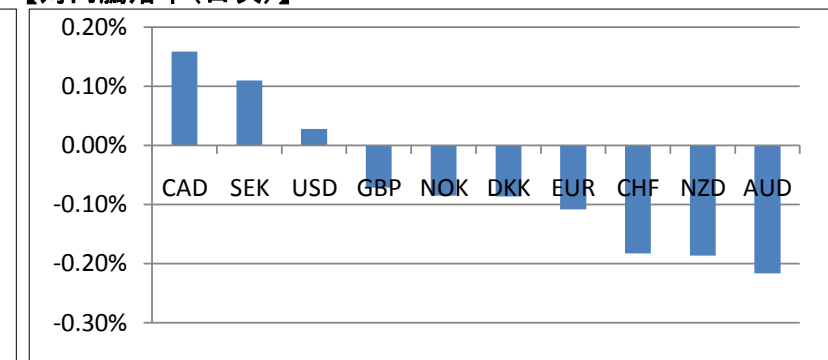
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月22日	08:30	日 CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	10月 0.3%/0.4%/0.6%	0.2%/0.3%/0.5%
	16:00	独 GDP(前期比/前年比)・確報	3Q 0.1%/1.0%	0.1%/1.0%
	17:30	独 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)・速報	11月 42.8/52.0/49.3	42.1/51.6/48.9
	18:00	欧 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	11月 46.4/52.4/50.9	45.9/52.2/50.6
	23:45	米 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)・速報	11月 51.4/51.0/-	51.3/50.6/50.9
11月23日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	11月 95.7	95.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 米予防的利下げ完了後の世界は

朝晩冷え込む日が増え冬本番まであと少しと感じさせる季節になり、冬支度を進めている方も多いのではないだろうか。やはり季節に合った格好、備えがあれば忙しい師走を過ごす上でも安心できるもの。斯かる中、金融市場は米中貿易戦争のフェーズ1合意に向けた期待感が日々交錯する展開に、なかなか動意付くことができずにいると言えよう。株価が高値圏で底堅く推移しており、エマージング通貨もCLPなど一部通貨を除いて売り圧力はそこまで強くなく、低ボラティリティの中で株高&金利低下or横ばいが続くゴルディロックス相場の再来となるのか。しかし、ヘッドライン次第で相場が逆回転する可能性は十分あり、長続きしないシナリオに注意しながら過ごしたいところ。米中通商協議の行方が引続き最重要だろうが、今後の方向感を探る上で過去のFOMC最終利下げ後のプライスアクションを調べてみた。10月末をもって予防的利下げを完了したと見られるFOMCだが、1990年以降の約30年間で利下げしていた期間は今回を除くと5回あり、最終利下げから90日後の水準を調べてみたところ、ドル円は(1). 92年9月以降: +1%、2). 96年1月以降: ▲2%、3). 98年11月以降: ▲4%、4). 03年6月以降: ▲5%、5). 08年12月以降: +10%と、上下両方に振れていることがわかった。同期間における米10年債利回りは+4~31%上昇しており、利下げ期待の織り込みが剥落していく過程で米長期金利は上昇しやすい傾向があると言えそうだが、ドル円の反応はまちまちで多くの示唆はないかもしれない。但し、予防的利下げとされた95-96年、98年の利下げシーンではどちらも円高進行となっており、今現在に置き直すと年末までにかけて下方向のリスク(=円高)をケアすべきと考えることは可能だろう。冬の日には隠れるのも随分と早く、すっかり冷え切った風が突然市場に吹くかもしれない。落ち着いた値動きに慣れ切ってしまったかもしれないが、冬支度と同じく早めにリスクシナリオへの対応策を整えておきたいところ。(岡本)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア

ブル	ベア
11	9